

## ◎稲作だよりNo.2 ポイント

- ・品種ごとに適した栽培管理を行いましょう！
- ・播種後はこまめに温度計を確認し、この資料を参考に適温で管理をしましょう！
- ・ハウスの倒壊により露地プール育苗を行う場合は、裏面の管理方法を基に管理をしましょう！

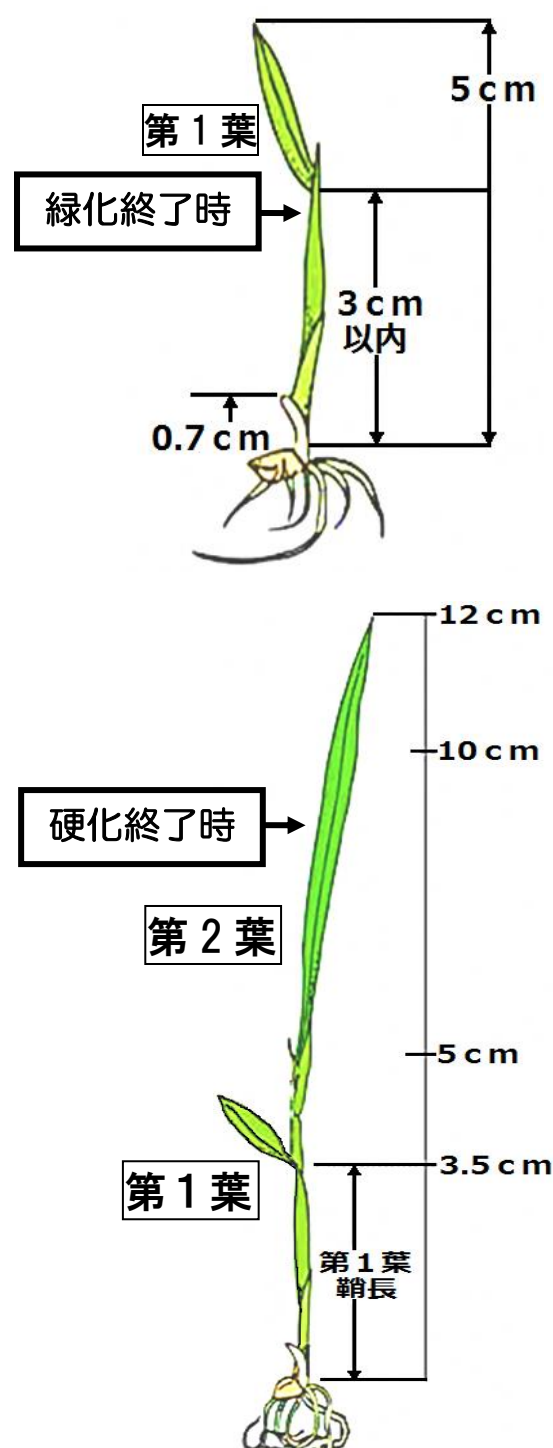
## 1. 品種ごとの大まかな違い

	食味・品質をねらう品種 (コシヒカリ・新之助)	多収をねらう品種 (ゆきん子舞・新潟次郎・あきだわら)
基本的考え方	○食味・品質を最優先させる ○適正な玄米タンパク質含有率(コシヒカリ6.0%程度、新之助6.3%以下)の1等米	○多収により60kg当たりの生産コストを削減するとともに、低コスト技術を組み合わせ、10a当たり所得を確保 ○品質は、実需のニーズに合わせる
元肥量 (品種、地力に応じて加減する)	○やや控えめ コシヒカリ：窒素成分2~3kg/10a 新之助：3kg/10aを目安	○窒素成分6~7kg/10a程度 ○初期の茎数をしっかり確保する
育苗	育苗日数25日以下、弁当肥を施用した健苗で、太い下位分けつを早期に確保	
移植時期	○高温登熟回避のための移植時期設定 コシヒカリ：5月10日以降 新之助：5月中旬	○早生品種：茎数確保のため5月上旬までに行う ○晩生品種：登熟可能な気温が確保できる時期に出穂するよう5月中旬までに行う。
栽植密度	○土壌条件に応じた栽植密度 50株/坪程度	○疎植は避ける 60株/坪以上

## 2. ハウス育苗(稚苗)の管理

時期	出芽期		緑化期		硬化期	
実施期間	加温 無加温	2~3日間 5~7日間	2~4日間		12~13日間	
被覆	・出芽長さ1cmを目途に出芽させる。		・第1葉が開いたら、シートを取り除く。		・基本的にハウスを開放し、霜注意報などの低温時は閉める。	
換気	※こしいぶきは1.5cm目安		・ハウス内温度が20~25℃以上の場合ハウスを換気する。		・田植え1週間前頃からは夜間もハウスを開放し外気にならす。	
温度	30℃ ※細菌性病害の発生抑制のため30℃以上にしない (出芽期の被覆下の温度に注意し換気で調整)		昼	20~25℃ ※晴天日は早めに換気	昼	15~20℃ ※晴天日は早めに開放
			夜	15~18℃	夜	10℃以上
かん水	・播種時にたっぷり行う。		・緑化開始時に土の状態を確認し、かん水を行う。 ・土の表面が乾いた場合は、1日1回午前10時頃までに行う。		・前半は1日1回、後半は乾き具合をみて1日2回行う。 ※床土の温度低下を防ぐため、午後3時までにかん水を終了する。	
温度管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハウスに必ず温度計を設置して、時期に合った適切な温度管理を行う。</li> <li>・ハウスのビニールが新しい場合、温度の上昇が早いので注意する。</li> <li>・気温が低くても、急な日照による温度の上昇に注意する。</li> </ul>					
弁当肥	<ul style="list-style-type: none"> <li>・弁当肥の施用 田植え4~5日前に窒素成分1~2gの追肥を実施し、苗の活力を高め、活着促進を図りましょう。</li> <li>弁当肥施用後は苗ヤケ防止のため、灌水を行いましょう。</li> </ul>					

### ◆目標の苗姿



### 3. 露地プール育苗の管理

・育苗ハウスの倒壊などにより露地プールでの育苗を行う方は参考にしてください。

#### 注 意 点

準備作業	<ul style="list-style-type: none"> <li>箱底から大量の根が出るので、箱底に専用シートを敷くか、底孔の少ない育苗箱を用いる。</li> <li>苗床は均平にし、水が循環できるよう、プールの端から5cm程度空けて箱を並べる。</li> <li>緑化が終わるまではプールの枠を外し、降雨時に湛水しないようにする。</li> </ul>
被覆	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハウスでの育苗以上に外気の影響を受けやすいため、緑化期間中の低温時は二重被覆で管理を行う。</li> <li>緑化後期では、高温多照条件で被覆資材下の温度が上がりやすいので苗ヤケに注意する。</li> <li>降雨により被覆資材上に水が溜まると、発芽不良や温度上昇の要因になるため降雨後は被覆上の排水を行う。</li> </ul>
水管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>緑化が終了（第1葉が展開）したら被覆資材を取り、床土面まで湛水を開始する。（緑化終了時に種子根が伸びていない場合は、湛水時期を遅らせる）</li> <li>浅い所の水位が床から1cm以下まで減ったら、苗箱の上まで湛水する。</li> <li>水温が高いときは夕方にプールの水を交換し苗の徒長を防止する。</li> <li>霜注意報などの低温が予報された場合は床土面以上に湛水する。</li> </ul>



### 4. 田植え作業・水管理

- ・早生は早期に莖数を確保するため5月上旬に、多収をめざす晩生品種は、登熟可能な時期に出穂するよう5月中旬までに実施しましょう。
- ・品種、ほ場の条件に合わせて植え付けの株数を設定しましょう。  
※早生や多収品種では疎植栽培は避け、植え付け株数を調整しましょう。
- ・植え付け本数は3~4本/株とし、大苗にならないようにしましょう。

#### 【田植え確認事項のめやす】

	時期のめやす	坪当たり	10a 当り使用箱数の目安	植え付け本数
葉月みのり	4月25~30日	60株	18箱	3~4本/株
新潟次郎	5月上旬	60株以上	18~20箱	
ゆきん子舞	5月上旬	60株以上	18~20箱	
あきだわら	5月10日まで	60株以上	18~20箱	
こがねもち	5月上旬	60株	18箱	
こしいぶき	5月上旬	60株	18箱	
コシヒカリ	5月10日以降	50株	16箱	

#### 【栽植密度の設定変更について】



(栽植密度調整ギア)

・栽植密度の目安

70株 → 株間 16cm    60株 → 株間 18cm  
50株 → 株間 21cm    37株 → 株間 30cm

※ 品種ごとに、使用苗箱数を確認しましょう。

（田植えを始めて実際の使用苗箱数を確認（10aの正形田推奨）  
苗のかき取り量を調節し、植込本数3~4本/株になるように植付け）

#### 【田植え後の水管理】

- ・田植え後活着するまで水深は3~4cmを基本として、低温や強風の場合はやや深水にして植え傷みを回避しましょう。
- ・活着後は2~3cmのやや浅水として、水温の上昇を促し早期に分げつを確保しましょう。
- ・稲わらの分解が進むと土壌中にガスが溜まります。ガスが溜まると根に悪影響を与え、養分吸収の妨げになりますので軽い中干し（夜干し）、水の更新等行いましょう。

#### 【お問い合わせ先】

全地区共通

JA 柏崎営農企画課 21-0220  
柏崎農業普及指導センター 21-6263

南部高田、中央柏崎地区

JA 南部高田支店 22-5165

東部田尻、北部西中通、高柳

JA 東部田尻支店 35-8188

西山、刈羽地区

JA 刈羽支店 45-2255

#### 柏崎地域農業振興協議会

柏崎市、刈羽村、中越農業共済組合、柏崎農業協同組合、柏崎土地改良区

柏崎農業普及指導センター（柏崎地域振興局農業振興部）